

アレチギシギシ (荒地ぎしぎし)

名前の意味：荒地に生えるぎしぎしの意味。ぎしぎしは、茎をしごいた時の音が「ぎしぎし」と聞こえるため。

分類：双子葉類、タデ科、ギシギシ属

(タデ科の栽培植物：ソバ)

好きな場所：日当たりのよい空き地、道ばた

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ

特徴：枝分かれした頑丈な茎、小さな緑色の花、三角錐の刺々した実。

種子の運ばれかた：動物の毛皮について運ばれる

花卉の数：離弁、6裂 (果実の時は3裂にみえる)

花の時期：5 - 7月

食べ方：食べられない

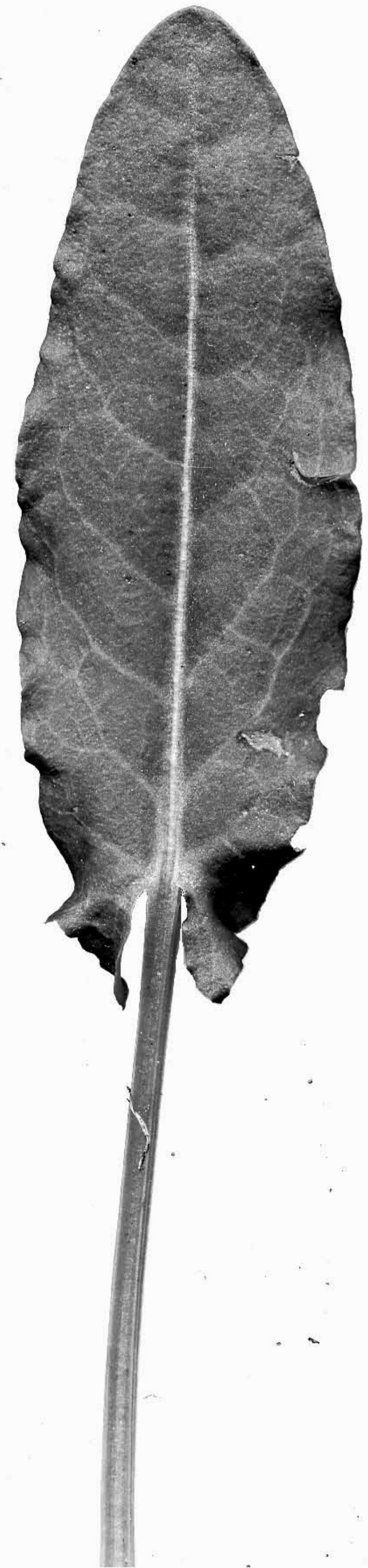
見分け方：ギシギシとは、茎が細くて乾いた感じなこと、枝分かれが多いことで区別できる。
スイバとは、葉が矢尻状でないこと、雄雌の区別がないことで区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)



スイバ (やじり状の葉)